

以心伝心(いしんでんしん)

亀岡市立東輝中学校 2 年学年通信

学年主任：瀬野 光照 第 1 号

令和 4 年 5 月 23 日 (月)

「進路実現」を目指して

2 年生最初の定期テストが終わりました。定期テストは、現段階の自分の理解度を知るためのテストです。みなさんの中学校での**最終目標は希望進路の実現**です。小学校入学時には卒業すれば中学校への入学が決まっていたかもしれません。しかし中学校に入学したみなさんは卒業後に進む道は誰ひとり決まっていません。そのためには自らの進路を切り拓く確かな学力を身に付ける必要があります。定期テストのために学習しているのではなく、みなさんの「**将来の志の実現**」のために、最も近い目標で言うならば、「**進路実現**」のために学習しています。大切なことは、このテストを有効に使い、振り返るということです。特に間違えたところ、わからなかったところを振り返り、理解できるようにすることです。今回のテストでそれを実践して理解すれば、テストが有意義なものになります。是非とも定期テストを有効に使ってください。テスト前や入試前に頑張るのは当たり前です。部活の大会前に頑張るのも当たり前。しかし、直前に追い込んだだけでは頭にも身体にも残るものは少なく大きな成果は望めません。「**コツコツが成功するためのコツ**」だと先生は思っています。

さて、テストを終えて気が緩んでしまう時です。もう一度気持ちを新たにして次の 3 点を大切にしていってください。

1 思いやいの心と支え合う心を大切に

人の気持ち、思いを理解できる人、人の立場に立って考えられる人、人の痛みが理解できる心の持ち主、困っている人を助けることができる心の持ち主になってほしいと思います。人と話をするとき無意識に人を傷つける言葉が出たりしていませんか？ SNS などで発する文字で人を傷つけたりしていませんか？ 何気ない言葉で人は傷つけてしまいますし、傷つくことを言われた人は忘れません。何気なく出る言葉は日常で使っている言葉です。常に自分の言葉に敏感になり振り返ってください。

2 年時のみなさんの様子を見てみると、人に対しての接し方が温かくなったと感ずることがあります。1 年間を共に過ごし、お互いの頑張りを少しずつ認め合い、クラスや班に必要だと感じ合っているからこそその行動だと思います。自分のことだけでなくお互いを大切にして「目配り・気配り・心配り」を意識してください。何気ない気配りが人を幸せにします。校外学習ではその力が発揮されます。

思いやりの心を持てばあいさつ力も高まってくると思います。みなさんの気持ちの良いあいさつも期待しています。

2 時間を守る＝信頼

時間を守る（8時15分登校、3分前行動2分前ベル着、）ということについては全体的には意識できていますね。しかし、提出物の期限についてはどうですか？忘れ物などはどうですか？自ら時計を見て行動できていますか？1年時より成長＝進化できていますか？みなさんが社会人となり仕事に就き打ち合わせで遅刻したとしたら、相手を待たせることになり、相手の時間を奪ってしまいます。約束の日までに段取りできていなかったりすると、どうなるのでしょうか？信頼を失います。そうならないための「習慣作り」です。どうすればこういったことが改善できそうなのか一人一人考えてみてください。

3 一人一役からの一人一躍

2年生になり、新たに頑張ろうとしている姿がたくさん見られていますし嬉しい気持ちになります。先生はそういった人には「頑張っているな」と声をかけるように意識しています。クラスのために頑張っている人、仲間のために頑張っている人にみんなで「ありがとう」などの言葉をかけることができれば素晴らしいですね。お互いを認め合うことができればもっともっとみんなが幸せになれるのではないでしょうか。そのために一人一役をやり切る習慣をつけていってください。班の仕事は、やり直しが目的ではなくやり切る・やらせ切るが目的です。誰しもが忘れることがあります。しかし、その時に班内でやらせ切る動きが取れるかどうか、班員全員が忘れていたらクラスの仲間がやらせ切る動きが取れるかどうかです。みんなで一人一役を全うさせ一人一躍にできるかが大切です。一人一人に活躍の場があれば、一人一人が輝けます。そして頑張っている人をみんなで認め褒め合ってほしいと思います。終礼の班討議でも、一日の反省報告だけでなく、「何班のこういったところが良かった」「今日はこんな動きをしている人がいたので良かった」といった内容が出てきてほしいなと思います。これも「進化」です。お互いを認め合うことができれば、「仲間力」が向上し、進路実現時にかけがえのない力となり役立つと先生は思っています。

「待ちに待った校外学習」

みなさんが将来自立して生活していくためには「社会性」を育むことが大切です。いつまでも同じメンバーで生活していくわけではありません。知らない人の中で活動しなくてはならないこともあります。人は生まれた時から「社会性」を身に付けているわけではなく、大きくなるにつれて自分の気持ちと相手の気持ちを理解し、自分にとっても相手にとってもお互いが良いと思える方法を学んでいきます。「社会性」は学校だけでは身に付きません。場に応じた言葉遣いや礼儀作法、思いやり、人前で話したり聞いたりすること、人のために何かすることなどで身に付けていくと思っています。学校では学べないことを学び、有意義かつ楽しい校外学習にしてください。